

西日本豪雨発災後の生活の対応と 復旧過程に関する研究

本園 遥菜

呉工業高等専門学校
yusuke-k@kanda-labo.net

神田佑亮

2018年に発生した西日本豪雨災害では、広島県内の各地で土砂災害が発生した。呉市天応地区では複数の土石流により深刻な被害が発生した。多くの家屋や電気・水道などの生活インフラの損壊等の被害が発生し、生活の復旧や地域の復興まで長い期間を要した。本発表では、天応地区の災害伝承・防災教育活動を通じ地域の方々にアンケート調査を行い、水道や電気等の生活インフラの復旧までの日数(50%復旧日数及び90%復旧日数)や、発災後の復旧プロセスの間に苦労した点やその対応の工夫について調査・分析を行なった結果を報告する。

キーワード：平成30年7月豪雨，リカバリーカーブ，防災教育，災害への備え